

# 大家新年好！

日中友好協会岡山支部 支部長 真田紀子

昨年は大変な年でした。コロナがやっと終息したと思ったら、10月7日パレスチナのガザ地区を実効支配するイスラム組織ハマスが、イスラエルを突如攻撃し人質も取って、双方が戦闘状態に入った。ウクライナ問題ではロシアが、国連の安全保障理事会で拒否権を發動するが、パレスチナ※

# 台湾侵攻に巻き込まれる日本

―悪夢を現実のものとしないうために―

日中友好協会倉敷支部理事長 宇野忠義

ロシアのウクライナ侵攻後、2022年末、岸田政権は、「専守防衛」をかなぐり捨て、安保3文書を閣議決定し、敵基地攻撃能力の保有と軍事費を倍増させ、5年間で43兆円を支出し、増税も図る計画を決め、実行している。戦時体制にいつでも移行できる準備が密かに、あるいは公然と推進されている。そうした中で、軍事活動中のヘリコプターがあいついで墜落し、16名の犠牲者が出ている。

防衛問題の専門ジャーナリスト半田滋氏は、高い取材能力と深い分析で知られるが、23年10月出版の著書『台湾侵攻に巻き込まれる日本』（あけび書房）で、次のように記している。

「台湾有事の発生は、米国による必要以上の台湾への接近に対し、中国が我慢の限界を超える、中国の習近平国家主席が4期目の国家主席を確実にするために踏み切る、そして中国による台湾の武力侵攻に対抗して米国が参戦する、などの要因が考えられるが、いずれにしても米国と中国の出方にかかっている。」

「ただ、両国が互いの領土を攻撃することなく、台湾および\*

※問題ではアメリカが拒否権を發動する。すでにパレスチナ側の死者が2万人を超えている。逃げ場のないパレスチナで、ほとんどの死者が民間人で、なかでも子供の死者数が8千人を超えているとの報道もある。年内に休戦になるかどうかもあやしい。

遠く離れた日本では、国会の閉会を待つて、自民党の裏金問題が一举にヒートアップしている。私たち一般市民に何ができるのか、パレスチナには援助物資も届かない。医療も崩壊している。せめて日本の政治の行く末を、責任を持つて見守り、今回の選挙でより良い選択をするしか方策はない。

\*その周辺、つまり日本を戦場とする戦い方があるのではないか。米国のシンクタンク「戦略国際問題研究所（CSIS）」のシミュレーションはその可能性を示唆している。」と指摘している。

米国バイデン政権は、22年10月、「国家安全保障戦略」を策定し、同盟国も動員して中国を軍事的に包囲する「統合抑止」を掲げたとされる。岸田政権の安保3文書は米国の戦略の下、その従属化での下請け、一翼を担うものとなっている。沖縄や南西諸島が急速に軍事基地化・ミサイル基地化されている。憲法の実質破壊、死滅化が堂々といわれている。戦前体験した悪夢が進行している。

澤地久枝さんはかつて、「ファシズムはドアをノックして入るのではなく、ドアを軍靴で蹴破って押し入る」といった表現をされたが、戦前を彷彿とさせるような事態が進んでいる。マスメディアも権力の監視という本来の任務を果たしていない。心寒い状態である。

これらの背景には、異常な軍事国家・情報産業・金融資本国家化した米国の本来の産業競争力の低下、および諸分野の基本素材である半導体生産・供給の米国の圧倒的劣位による焦りと深刻な自己矛盾がみられ、米国が脱却する展望は容易ではない。台湾をめぐる攻防はその一環である。それだけに、緊迫した状態が続くであろう。

その解消は、国連の平和憲章に則って、また、平等互惠、相互の主権尊重・領土保全、内政不干涉といった国際平和の原則を遵守して、誠実に話し合っ、相互の理解と合意を得るしかないであろう。もちろん、武力は害こそあれ、まったく無用である。

日中友好協会岡山支部ホームページ  
<http://rizhongyouhao.jinaa.net/>  
メールアドレス  
nicchukayama@yahoo.co.jp



## 中国百科検定を受験して

田中栄子

2023年12月2日に、中国百科検定2級を受験しました。もう何回目というか、ほぼルーティンと化しています。前回の試験が終わって、結果をみて、今回は！と意気込むのですが、

やはり直前にならないと受験モードにならないのです。

結局、今回も勉強会1回参加して、過去問5回分を2巡するのが精一杯でした。

試験の内容としては、  
・過去5回分に出てきた問題は結構多い

（既視感ありありな問題が多かった。しかし解答できるかどうかは別）

・問題集でも、過去問でも見かけたことのない問題もあり

（テキストはチェックしてないのに、テキストにはあるのかも）

・変にひねった問題はない感じ（意地悪い感じはなし）

・得意分野と苦手分野がはっきり分かれた感じ

（個人的に）  
という感想でした。（裏面へつづく）

試験が終わったら、また2級受験だな(何度目だ!)と思いつながら、望年会へ気持ち切り替えました。

年2回、地元なら実質1回の受験なのでモチベーションを保つのがなかなか難しい。

受験申込して、やっと重い腰を上げて、直前に慌てるの。パターンから抜け出せない。

後日、公式HPに過去問と解答が掲載されたので、答え合わせをしたら、予想通りの結果に。

しかし、迷った挙句、間違えた問題がなかったら、合格(ぎりぎり)かもだったので

ここは正直に残念と思いました。また、2級に挑戦しようと思いません。(懲りてない)



## 日中友好協会岡山支部連合会の第2回総会が開かれました

真田紀子

12月16日(土)に標記の総会が岡西公民館で開かれました。

出席者は次の方々です。宇野さん、犬飼さん、鳥越さん、木村さん、河井さん、真田の6人でした。

会計監査をお願いした、木村さんが出席していました。岡山支部の2022年度の総会に出席されて、大変厳しい意見を述べてくださり、大いに刺激を受けたことを思い出しました。

今回も大変手厳しい意見を次から次へと述べてくださり、目から鱗が落ちた気がしました。県連の理事会でも、何か話が進まないというか、本当に必要なことを話していないというか、もどかしい思いをしていましたが、目の前の霧がはれたような感じがしています。

県連のあり方というのをもう一度話し合う必要があることがはっきりしました。小林さんがいらつしやればもつと違う活動ができていたのではと思いますが、残念ながらありません。

最初は会計の話です。県連は岡山支部と倉敷支部の分担金で運営され、本部への会費納入を行い、新聞「おかやま」の発行と本紙の発送作業を担当しています。そ

の他名刺広告代やカレンダー代、研究中国二代、大会決定集などをまとめて支払うことによって、経費の節減になっています。これは結成当初からの目的の一つでしたので、うまく機能していると考えられます。ただ新聞発送費用がかなり高額になっているので、減らす努力をしてほしいとの意見がありました。これを書きながら、ニュースによれば郵送費の値上がりが決まりました。

次に、総会として当然あるべきという内容ですが、今年度の活動の総括、来年の目標などきちんと文章として書くべきではないかという意見です。

今回一番重要なことは、井笠支部を立ち上げることができないことです。その理由は、本部の規約によれば、“新支部設立には20名の正会員が必要”というしぼりです。これをクリアすることができないので、県連の最初の仕事がつまづいているのです。

今回県連の総意として、“正会員、準会員合わせて10名で新支部を設立できる”と規約を改正してほしいと要望することになりました。

2024年7月7日(日)に井笠

支部設立総会をやりましょう。その準備会を1月23日

(火)にやりましょう。ということになりまし。目標を定めて準備することの大切さも改めて感じました。

各支部とも月1回の理事会では、うまく運営ができないのは、という意見です。現実にはその通りで、きちんと3役会議を持つてはどうかということですが、3役とは理事長、支部長、事務局長です。ここでも現在は、小林さんの欠けた穴を埋められていません。事務局長の犬飼さんが一人で県連を運営しているようなものです。

各理事会では、連絡がうまくいつているのか、ライングループを作つてはどうかという意見には、岡山支部ですでに作つてい

ることを話しました。県連理事会でも作る必要があります。日中友好協会の会員の仕組みについて、会費や会員の違いなどを会員の方々が周知しているのかどうか、という意見には、2022年度の岡山支部総会での指摘を受けて、入会申込書を作り、携帯するようにしているところ

です。また、各3役は名刺を作り携帯するようにしているところですが、現実にはなかなか行えていないのが、私の場合です。申し訳ありません。

今回の総会での話し合いが現実になるよう、皆さんの協力を切にお願いするところで

### 中国百科検定

#### 第15回試験

2024年7月13日(土)

#### 第16回試験

2024年12月7日(土)

この回は岡山会場も設営します。多くの方に受験をしていただきたい!

### 今後の日程

- 2024年1月21日(日)  
10時~理事会:岡輝公民館  
14時~映画「西遊記はじまりのはじまり」:岡輝公民館
- 1月30日(火)  
10時半~新聞発送作業

次回の新聞発送作業は1月11日(木)午前10時半から

民主会館2階で行います。前回お手伝いくださった方です。

飼 犬  
真 田